

## 平成29年度第1回池田市行財政改革推進委員会 議事要旨

【と き】 平成29年9月1日（木） 午前10時00分～午後12時00分

【ところ】 池田市役所 3階 議会会議室

【出席者】

■委員：佐々木会長、村瀬副会長、蒲生委員、高島委員、牛嶋委員、榎本委員、  
中西委員

■事務局：北浦市長公室長、松浦総合政策部長、藤井人事課長、森本財政課長、  
財政課富永主幹、財政課石川主任主事、財政課中村主任主事

【傍聴者】 0名

【内 容】

### 1) 開会

=事務局から配布資料について説明=

=佐々木会長から本日の進行について説明=

### 2) 議事

池田市行財政改革推進プランⅡ平成28年度最終報告（案）について

=「池田市行財政改革推進プランⅡ平成28年度最終報告（案）」について、事務局から説明

委員：目標達成に向けた進捗状況の記載（P4）のところで、財政調整基金残高が45億円となり目標値の10億円以上を維持したとのことだが、あくまで目標は平成30年度末段階でということ。今後の見通しはどうなっているのか。

事務局：今後2か年の残高の推移については、減少が見込まれているところ。ただ、平成28年度においては、1億円の積み増しができたという点で順調に目標に向かって推移したものと考えている。表記の仕方については、検討させていただく。

委員：公営事業の病院と上下水道に関して、参考資料（P29）のグラフの歳出のところで市から何らかの財政負担をしていると思うが、どこに入るのか。また、いくら程の金額で、前年度と比べて増減はどうか。

事務局：企業会計の事業に対して、国のルールに基づいて一般会計から繰出金として支出している。病院事業に対する繰出金は、款別の中で衛生費に約10億円程度が計上されており、平成27年度の決算と比べ減少となっている。また、公共下水道事業に対する繰出金は、款別の土木費で約7億円程度が計上され

ており、前年度と比べ大きな増減はない。また、企業会計以外では、国民健康保険事業等の特別会計に対する繰出金を民生費で計上している。

委員：これまでの委員会の中で、クリーンセンター、給食センターのリニューアル費用がどのくらいかという話があったが、9月号の市の広報誌において、市長がクリーンセンターは約50億円、給食センターは約40億円程度と書いている。これは想定内の金額でこのプランⅡには織り込まれていたのか。

事務局：このプランⅡ策定の時点で、クリーンセンターや給食センターの大規模改修は想定されており、収支見通しの中で、ある程度その費用を織り込んだ上で今回のプランⅡを策定している。

委員：ごみ収集の委託をしたことによる効果額が773万円（P12）とあるが、どのように算出したのか。また、上下水道窓口の委託（P15）には効果額の記載がないが、効果額が発生しない取組ということか。

事務局：委託については、基本的に「委託前の人件費及び諸費」から「委託後の人件費及び委託料、諸費」を差し引いて算出している。上下水道窓口の委託については、平成29年4月から窓口の委託を開始しているため、効果額については平成29年度から計上される予定である。

委員：全体的に取組実績の記載がわかりやすくなったといえる。個別の取組では、人件費（P16）のところで、給料等の削減により、1.7億円程度の効果があったとあるが、一方で、国は賃金をあげていく流れとなっており、この点についてどのように考えたのか。

事務局：全体の賃金が上昇という流れの中で、できるかぎり避けていかなければならないと考えているものの、平成28年度は市長選挙もあり、様々な公約を掲げている中で、市民に有益な事業を展開していくためには、やはり財源が必要になってくるということがあり、組合と協議をした上で、平成28年度の1年間、時限措置ということで実施したもの。平成29年度は復元しており給与削減は未実施である。

委員：高額滞納者への徴収強化（P17）は効果額の記載がないが、効果額はなかったのか。弁護士を活用していたが、高額滞納者から徴収できなかったのか。

委員：本委員会の整理としては、もともと払われるべきものが徴収できただけなので、効果額には計上しないという整理だったと思われる。

事務局：お見込みのとおり。平成28年度における本取組の実績としては、弁護士2名により8件の差押えを実施し、約3500万円を回収しているが、効果額としては記載していない。

委員：弁護士を雇った結果、8件効果があるということで、件数だけでも掲載してはどうか。

委員：水道料金及び下水道使用料の見直しの検討（P16）で、取組実績として具体的

な料金見直しの検討に触れられていないが、見直しに向けた各種検討はしていると思われるため、もう少し取組内容を記載したほうがよいのではないかと。

事務局：担当部局と調整させていただく。

委員：豊中市との消防指令業務の検討（P22）のところ、なぜ豊中市だけなのか。連携の枠を広げられないのか。

事務局：他市との連携には、消防指令台の更新のタイミング、仕様など様々な課題がある。豊中市とはスムーズに開始できたが、さらに広げていくことは難しいかと思われる。

委員：色々な事情があるのはわかるが、最近の豪雨等、緊急のことが多く起こりうる状況なので連携をしっかりと今後もやっていただきたい。

委員：取組実績の箇所（P5以降）を確認していると、「効果」が今後も続くとは思えないものがある。例えば、資産売却では来年以降はその「効果」は期待できない。そのため長い目で見ると、効果額が減少し、頭打ちになっていくと思われる。それからもうひとつは、「貨幣的なもの以外の効果額の測定方法」の必要性を感じる。また、資料の作り方については適正になされていると思われる。

＝松浦総合政策部長から佐々木会長に「平成28年度における池田市行財政改革推進プランⅡの取組状況に関する意見依頼書」を手交＝

（各委員による意見交換）

委員：目標達成に向け順調に推移しているということなので、今後も引き続き努力されたい。また、報告書に記載の取組実績については、これまでの意見を踏まえてわかりやすく表記されており評価できるのではないかと。あとは、各委員の意見の中からいくつかをとりあげてまとめてはどうか。

委員：ひとつは、現状を踏まえ新しい視点で、この行財政改革の取組を大きな視点から見直すなど、もう少し抜本的なアプローチの見直しが必要ではないかと考える。もうひとつは、効果額について、その算出方法に関して議論の余地が残っていると考える。

委員：各種窓口業務において、事務処理の効率化が進み、効果があった、達成されたとあるが、今後もサービスの向上に継続して取り組んでいただきたい。

委員：今までの行財政改革では一般論でいうと「経費を削る」ものが多かったが、そうではなく、今後は「サービスの向上」が非常に重要だと思われる。その点に時間を割いてみんなでもう少し何かを作ればよいのだと考える。

委員：中期目標達成に向けた進捗状況の記載（P4）が少しあっさりしすぎている気がする。要因を書いてはどうか。

事務局：表記については検討させていただく。

### 3) 事務連絡

事務局から今後の予定について説明

### 4) 閉会